こがおも
KOGAOMO

噂の
小金井市を、もっとおもしろく。
こがおもマガジン

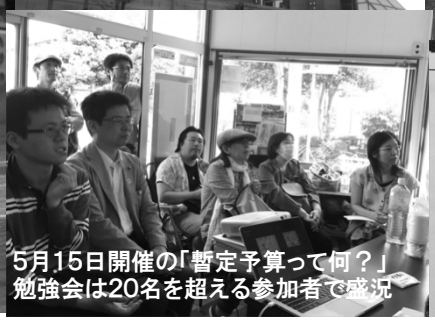
発行・責任編集：
小金井市東町4−43−1
三楽荘B号室
白井とおると
小金井をおもしろくする会

ほぼ月刊版
VOL.35
2016年6月6日発行号

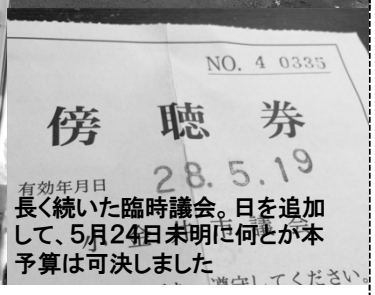
なぜ、待機児童は減らなかったのか？
計画と大きなギャップがうまれた理由

市長最大の公約「6施設複合化」
早くも撤回。公約っていったい何？

拝啓　東京都さま　小金井公園に
3,000席の仮設ホールって本気？



5月15日開催の「暫定予算って何？」
勉強会は20名を超える参加者で盛況



長く続いた臨時議会。日を追加して、5月24日未明に何とか本予算は可決しました

待機児童数149名。計画比111名増

115名→138名→188名→257名→164名→149名
（H23年4月1日）（H24年4月1日）（H25年4月1日）（H26年4月1日）（H27年4月1日）（H28年4月1日）

最新の小金井市の待機児童数（速報値）が公表されました。平成28年4月1日現在の小金井市の待機児童数は149名となっています。昨年は164名ですので、15名は減ったと捉えられそうですが、実態はこれとは異なります。なぜなら、昨年は4月1日にオープンする予定だった認証保育所が手続き上の課題で5月1日のオープンにずれたことによる定員40名を差し引くと124名であり、今年は実質25名増えたことになるのです。

実質は124名。3月策定の子ども・子育て支援事業計画上では152名の待機児童の予定。実態では計画比28名減

子ども・子育て支援事業計画では38名の予定。計画比111名の大幅増となった。

この大幅増の原因は、子ども・子育て支援事業計画を立てるための「人口推計」と「実際の児童人口」とのギャップにあった

待機児童数が予想よりも大幅に増えたことに対して「需要を掘り起こした」ということはよく述べられます。確かに考えられる要因の1つであることは間違いないですが、それは調査をしてみる限り、今回の小金井市には当てはまらないと考えられます。

	事業計画策定にあたっての人口推計		実際の人口（平成28年3月1日段階（小金井市HPより））		その差		保育利用率（事業計画の数字を採用）		待機児童数のギャップ
0歳児	952人	→	1,062人	＝	110人	×	26.4%	＝	29人
1歳児	948人	→	1,052人	＝	104人	×	43.2%	＝	45人
2歳児	957人	→	1,048人	＝	91人	×	43.2%	＝	39人

数字上の「人口推計」と「実際の児童数」の間の必要な保育枠ギャップ数
合計 **113名**

今年の計画での待機児童数は38人ですから、上記ギャップの113人を足すと151人です。今年の149人の待機児童数はこれで説明がつくのです。

私は昨年の議会でこれを指摘し「計画数字を実態に合わせて見直すべきだ」と提案していました。しかし、行政は指摘を受けたにも関わらず、見過ごし向き合ってこなかったことがここにきて待機児童数の計画比で大幅増という結果になってしまいました。

あくまで数字上の計算ですが、数字がピタリと合うのです。細かい定性的な分析も必要ですが、早くからこの事実と向きあって動いていれば、もう少し結果は変わったのではないでしょうか。

提案
①できる限りの追加支援策に取り組む
②人口推計と保育枠確保数字の見直し

西岡市長、「私の最大の公約」を早くも撤回

6施設ではなく、4施設で

5月23日の臨時議会で、西岡市長はこれまでの「6施設複合化」を断念し、4施設の複合化へ大きく方針転換することを、突如ある議員の質疑に対しての答弁の中で言及しました。4施設といっても今分散している3つの庁舎を1つにまとめるため、実質的には庁舎と福祉会館の複合化ということになります（その視点で考えると元の6施設複合化は4施設となります（以下参照）。プロジェクトチームの検討結果を待たず、就任5ヶ月にして「私はこの政策で選ばれた／私の最大の公約だ」と述べていた西岡プランはあっけなく覆され、市民の声を聴くこともなく大きく転換しました。

【４機能６施設複合化の西岡プラン】
①庁舎機能（本庁舎＋第二庁舎＋本町暫定庁舎）
②福祉会館機能（福祉会館）
③図書館機能（図書館本館）
④集会施設機能（前原暫定集会施設）

【２機能４施設複合化の過去にも提案されていた案】
①庁舎機能（本庁舎＋第二庁舎＋本町暫定庁舎）
②福祉会館機能（福祉会館）

「6施設複合化」は選挙のための政策だった？ 実現するための方法論を持ちあわせておらず

疑問その① 実現できるかどうかわからないものが最大の公約だった？

市長就任してまもなく、既に稲葉前市長のもとで発足していた福祉会館建設に関する市民検討委員会が突如中止されたことを発端に24人中21人の議員から説明の申し入れを受け、全員協議会を開催。そこで西岡市長は「6施設の複合化が実現できるかどうかを検証する」「私は現職でないため、検証できる立場にはなかった。実現できるかどうか検証する必要性がある」と発言を繰り返していました。本来であれば「この公約を実現させるためにプロジェクトチームをつくってスケジュールを立てる。だから少し時間が欲しい」と述べるべきだったのではないでしょうか。微妙な違いですが、ここに考え方の根本的な問題があることがわかります。

疑問その② 「財政的な課題もある」←公約「財政と切り離してできる」

西岡市長の市長選挙時のチラシには、「市民への新たな負担はありません。財政問題と切り離して実現できるのです」と書かれてありました。しかし当選後の議会での答弁では「財政的な課題もある」と逆の答弁に。

疑問その③ 「市民と一緒に考え決着」はどこへ？市民は置き去りに

同様に選挙時に配布されたチラシには、以下のように書かれてあるものの、結局市民との対話の場を開くこともなく、市民と一緒に考える機会もなく、最大の公約が勝手に市民が置き去りで方針転換されてしまいました。

『ただし、どのような庁舎にするかは、他のケースも想定し市民と一緒に考え決着します。小金井市の問題は、ビジョンが示せず迷走し、その場しのぎだったことにあります。具体策を元に、今こそ、市民力結集で、迷わずに、まっすぐに、未来へ進みましょう。市役所問題解決なくして未来はつくれません。』
（引用）市長選挙時に配布されたチラシ

市長への意見

庁舎と福祉会館の複合化は妥当な案（過去に議会でも何度も提案されていた、多数が望む案）。是非、市議2期8年・都議2期8年の実績と実行力を発揮して早急な建設の推進を願います。それとは別に、公約＝約束を軽んじた道義的責任は大きいのではないか。政治家としてしっかり市民へ説明すべきです。

HEADLINEニュース

▼暫定予算は解消。本予算は可決

小金井市は3月の議会で今年度の本予算が圧倒的多数での否決（賛成2対反対21）となり、5月末までの暫定予算となっていましたが、5月24日の臨時議会では西岡市長が市長選挙で掲げていた新庁舎などの「6施設複合化」という最大の公約を撤回したことで自民・公明が賛成にまわり、賛成12対反対11で辛うじて可決しました。これで今年度の予定されていた事業は遅れも出ながらも執り行われる見通しです。

▼小金井公園に仮設ホールができる？

首都圏で劇場やコンサートホールが建替えなどのため相次いで閉鎖されていることをうけ、東京都は都有地など11ヶ所を野外コンサートなどの会場として整備することがニュースで報道されています。NHKニュースによると『…また、江東区の木場公園と小金井市の小金井公園の2ヶ所を2,000席から3,000席程度の仮設ホールの建設用地として、それぞれ有償で貸し出すことになりました』とあります。
しかし、小金井公園は過去にも似たような話が持ち上がった際に、都と地元との調整がつかず、断念した経過もあるようです。地元住民のSNSの発言によると、東京都へのこれまでの経緯における不信感もあり、地元へ相談や打診がないまま今回の報道が出たことでその関係がより悪化することが予想されます。

▼チャレンジデー、82.6%の参加率？

笹川スポーツ財団主催で5月の最終水曜日に開催するチャレンジデーに小金井市は今年もエントリーしていました。15分間連続で運動した市民の参加率を他の自治体と競うというイベントですが、今年は秋田県大仙市と競い、3回目の挑戦にして「初勝利」！！大変喜ばしい、言いたいところですが、このイベントはもう今年で終了にして頂きたいと思います。なぜなら…
＜問題点＞匿名・自己申告制で、実態がわからない／あらゆる団体に「事前団体登録」を勧め、数字水増しの危険性がある／日常の買い物や通勤もOKとなっている／当日市内にいる市外在住の人もOK。しかし「参加率」は人口で割って算出／スポーツ習慣をつける成果に結びついていないというレポートが存在する／小金井市は平日約4万人強が通勤・通学で市外へ出ている／データが一切とれない／数字上で表れない職員人件費（パフォーマンス）負荷がある、など数え上げればキリがないほど問題がある事業です。「いいことやっている」的なまやかしで市職員の労力を費やすのは適切な税金の使い方ではありません。来年こそこの事業は廃止するのが妥当でしょう。

▼副市長、再び上原氏が就任へ

5月19日の臨時議会で、空席となっていたもう一人の副市長に上原氏の就任が西岡市長から提案され賛成多数で承認されました。経験があるため西岡市長が苦手な議会とのコミュニケーションを担うと予想されています。

アンバサダー（会員）募集！！

一緒に活動、または活動を応援してくれませんか？（年会費2,000円）ご興味のある方は、お気軽にお問合せください★会員になると→こがおもマガジンの郵送、定期メルマガ配信で市政情報がまるわかり！寄付も受け付けてます（^^）

白井とおると 小金井をおもしろくする会

元小金井市議会議員
代表　白井 亨（しらいとおる）

白井とおると小金井をおもしろくする会代表。1975年生／大阪府枚方市生まれ・育ち・、2007年に転勤で偶然小金井市に住みつく／3歳と5歳の子育て中。約6年前まで“無関心市民”、小金井市は“寝に帰るだけのまち”だったが、2010年子どもが生まれたことがキッカケで地域デビュー。2013年3月、13年間勤めた会社を辞め「地盤・看板・カバンなし」で選挙素人市民だけで小金井市議会議員選挙を戦い初当選。完全無所属。2015年10月末で議員辞職し小金井をみんなで、ホンキで変えるため同年12月の市長選挙に立候補するも惜敗。今、再び会社員（企画・マーケティング全般）。

【これまでの実績】

▼自身の一般市民時代の感覚をもとに、市役所改革（行財政・人材育成・ガバナンス）、保育園待機児童問題、子育て環境の充実、シティプロモーション、オープンガバメント、市民主体のまちづくり、2025年問題、議会改革などに取り組む
▼議員時代、誰でも参加できる「議会カフェ」をほぼ毎月開催。素人でもわかりやすく、市政状況を解説し意見を引き出す「対話」を地道に実行
▼第8回マニフェスト大賞「優秀ネット選挙・コミュニケーション賞」受賞、第10回同賞再受賞（H25年小金井市議会新人議員チームの取り組み）
▼毎日フォーラム、日経グローカル、政治山、政治美人などメディアへの寄稿・取材多数

6月のこがおもイベント

さぁ、いっしょに考えよう！

本×まちづくり、について話をしよう。

6月26日(日) 14:00～ @こがおも事務所 東町4-43-1

図書館問題、本を中心にしたまちづくりのあり方とは？前図書館協議会委員・横須賀さん、「まちライブラリー」小金井での実現を構想中の福永さんと一緒に意見交換しましょう。

参加費100円（お茶・お菓子代）
申込不要、直接お越しください

遠慮なく、お気軽にご意見ください★

kogaomo@gmail.com
twitter @shirai106
facebook facebook.com/shirai106 facebook.com/kogaomo
Ameba ameblo.jp/toru-ga-toru/
WEB事務所 http://kogaomo.com/
東町4-43-1 三楽荘B号室